

スクールソーシャルワーカー（SSW）とその役割について

子どもの権利擁護委員 小笠原 仁美



令和7年度より、子どもの権利擁護委員になりました、小笠原です。よろしくお願いします。

私は県内の一部の小中学校を定期的に訪問するスクールソーシャルワーカー（SSW、以下SSW）という仕事をしています。SSWは、子ども達が抱える課題を解決に向けて支援していきます。

よく似ている肩書として、スクールカウンセラー（SC、以下SC）がありますが、SCもSSWも「子ども達が抱える課題を解決に向けて支援していく」ことは一緒です。何が違うのでしょうか。私自身も、「SCとSSWってどこが違うの？」とよく聞かれてきましたので、それぞれの役割やアプローチの仕方についてまとめてみました。

スクールカウンセラー（SC）について

- **専門領域**：心理学・臨床心理学
- **主な対象**：心理的な問題（いじめ、不安、ストレス、発達の問題など）を抱える児童・生徒
- **活動の場**：学校内（カウンセリング室など）中心
- **役割**：生徒との面接・心理相談
教員や保護者への助言・コンサルテーション
心理的な側面からの支援

スクールソーシャルワーカー（SSW）について

- **専門領域**：福祉・ソーシャルワーク
- **主な対象**：生活困窮、虐待、不登校、家庭問題、経済的困難などの社会的課題を抱える児童・生徒
- **活動の場**：学校と家庭・地域・関係機関（福祉事務所、児童相談所など）との連携が中心
- **役割**：生徒の生活環境を把握し、支援が必要な家庭に働きかけ
教師・保護者との調整役
福祉制度や支援機関との橋渡し

相違点

項目	スクールソーシャルワーカー (SSW)	スクールカウンセラー (SC)
専門性	福祉 (ソーシャルワーク)	心理 (臨床心理学)
主な支援内容	環境調整、制度利用、家庭・地域連携	心理相談、感情・行動支援
活動範囲	学校内外 (家庭・地域含む)	学校内中心
資格	社会福祉士など	公認心理師・臨床心理士など

まとめるとこのようになります。同じ課題を抱えるお子さんですと、アプローチの仕方が違うので SC、SSW 両名が関わり、それぞれの視点から見て支援することもあります。私は1校につき1年に最低2回は SC と一緒になる場を作り、情報交換し協働に努めています。

今回は、SC と SSW についてももう少し詳しく見ていきたいと思っています。

